

5月4日 天気:小雨のち曇り 上海合流

今日はラリーに参加するライダーにとっては非常に大事な一日、今日は北と南線が合流し凱旋式を行うだけではなく三年間のラリーの最終日だ。加えて今日はmotoGPの決勝戦でもあり、ヤマハが再びチャンピオンを狙う日でもある。故に今日の上海国際サーキットは、絶対に YAMAHA のための場所になると確信している。

今日の決勝は、小雨。しかしこの雨でもファンの情熱は消すことはできない。午前9時の開門時、上海サーキットの入り口には多くの人が詰め掛け、さらにまだサーキットに向かう途中の人も大勢いる。YAMAHA展示ブースでは、去年ロッシが使用したYZFM-1 が多くのファン達に囲まれ大人気。ラリーで実際に使用したYBR250 やシグナス 125、C8 も人気がある。展示ブースの隣にはステージがあり、午後南北線合流の凱旋式はまさにこのステージで行われる。

凱旋式まであと数時間あるが、ライダー達はもう落ち着いていられず、点検等凱旋式の準備に余念がない。これが、ラリー隊で最後の準備になる。午後12時45分。凱旋式が始まり、ステージの前には多くの観客が凱旋式を一目見ようと集まった。その中、ライダー達はエンジンの音を響かせながら、それぞれが50日間走り続けたバイクに跨り入場し、ステージに登壇した。この50日間の中で2つのルートが協力して中国の地図の上で大きなSを無事描く、これはライダー達の努力・団結の結果に他ならない。更に沿道のYAMAHA販売店とユーザーが協力、参加してくれた結果でもある。Sラリーが終わると共にYESラリーも今日で3年間の幕を閉じた。

凱旋式が終わるとすぐmotoGPの決勝戦が始まった。予選でYAMAHAライダーは上位のグリッドを獲得しており、1000人を超える、YAMAHAの販売店とユーザーの大応援団は、今日の優勝はきっとYAMAHAに間違いないと全員が深く信じている。信号が赤から緑に変わり、決勝戦が始まった。YAMAHAのエドワーズが先頭を走っている。一時抜かれるものの、5周目にロッシが一番手に上がり、その後も着々と相手を引き離し、そのまま優勝。ロッシが自ら今季初勝利を祝った時、スタンドの盛り上がりも最高潮になった。

今日のイベントはこれで全て終了し、ライダー達の分かれる時がいよいよ来た。誰もがこの別れは耐えがたい辛いものであったが、彼らは自分に言い聞かせている。「この別れは一時的なもの。次のラリーが必ずあるだろう、その時は必ず参加して皆と再び走りたい。」